

# 東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援: 様式4

|         |   |                |   |  |
|---------|---|----------------|---|--|
| 事業の名称   | いわてまるごと科学・情報館in釜石   |                |   |  |
| 開催日     | 7月16日(土)  | 開催場所           | 釜石市民ホールTETTO  |  |
| 会場来場者人数 | 160人  | 実施結果に対する感想・反省等 | <p>●科学技術分野と情報分野の初のイベント合同開催により展示規模や内容の拡充が図れた。</p> <p>●イベントの事前周知では、従来のポスター・チラシのほか、これまで別個に行っていた時の経験を生かし、ホームページ、SNSの活用、科学技術分野側で定期的に発行している通信誌等を通じ周知することで、周知媒体の拡充が図れた。その反面、イベント実施後のアンケート結果を見るとチラシ・ポスターで情報を知った来場者が多数を占めている結果となった。</p> <p>このことから、ホームページやSNS等のICTを活用した情報発信により一層力を入れる必要がある。</p> |  |
| 主催団体等   | 主催: いわてSociety5.0フェア実行委員会<br>いわてまるごと科学館実行委員会<br>共催: 東北情報通信懇談会<br>情報通信月間等<br>後援: 総務省東北総合通信局等   |                |   |  |
| 実施概要    | <p>新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの実地開催となった。また、従来は個別に開催していた科学技術分野と情報通信分野のイベントを合同で開催したことにより、展示規模や内容の拡充が図られた。</p> <p>特に今回は、両分野を兼ね備え、デジタル技術で障がい者の社会参画を促すことを目的とする、オリィ研究所が開発した分身ロボット「Orihime」の操作体験会を実施したところ、親子の参加者などから高い評価をいただいた。</p> <p>これらをはじめ、科学・情報通信技術がもたらす未来社会を実感できる展示やセミナーの開催により、次代の科学・情報通信技術を担う人材育成や、最先端の科学・情報通信技術の活用、DXがもたらす社会生活の変革について、幅広い層の県民が考える契機となった。</p> <p>なお、イベント当日は来場者向けにアンケートを実施し、以下のとおり回答を得ている。(160人中131人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子でとても楽しく参加できた。</li> <li>・イベントをとおして、子供たちの興味を引くキッカケになると思った。</li> <li>・通信技術の今後について興味がわいた。</li> </ul> |                |   |  |

